

新加盟 楽団紹介

会津シニアアンサンブル

去る4月4日(月)福島県初めてのシニアアンサンブルが誕生した。毎月第1、第3月曜日の午後が練習日で当日の会場は会津若松市近郊の美里町のじげんプラザという文化活動ができる近代的な施設であった。団員数はVn(4) Va(2) Vc(2) Mn(3) Gt(3) Fl(2) Sax(7) Tp(1) Kb(1) 総数25名、世話人代表はこの団の発起人の宮谷美穂さん、指揮者は武蔵野音大でチェロを専攻され、郡山ノア楽器の社長でもある、五十嵐陽先生である。発足当日、私は宮崎夫妻の車で1泊2日で参加した。応募者が想定以上のため、会場を2部屋借用して弦と管に分かれて練習開始となった。五十嵐先生は弦を、私は管をトビ入りで棒を振らせて頂いたがSaxが7名の割には音がまとまっており安心した。地方にSEが設立しにくい原因は指導者に恵まれないことである。今回、五十嵐先生にめぐり合ったのは大変幸運だった。昨年8月、下妻SE副代表の亀高さんから、私にメールで「学生時代の友人が会津にいて新しくSEを始めたいが指導者を紹介して頂けないか?」とのこと、私は会津若松には知人はいないが、郡山にはヤマハ時代に世話になったノア楽器の五十嵐栄則社長がおられることを思い出し、35年ぶりに電話した。電話に出られたのは息子さんだった。栄則さんは4年前に他界されたので、陽さんが後を続けておられるとのこと、用件を話して9月上旬にノア楽器で宮谷さんご夫婦、私の4人で初面談し、私としてはもしかすると社長が引き受けて下さるかも?と期待していたが、大変幸運にもその通りになり、設立を今年4月にすることに決定した。

五十嵐社長は昨年9月、地元「プロのオーケストラ」「郡山交響楽団」を結成され70名の団員のもと発足されたという。凄い人である。

会津SEの皆さま末永くボチボチSEを楽しんで下さい。おめでとございます。

(全シ連 岡村)

五反田シニアアンサンブル

スマホの音に驚いてとると『岡村です、ご無沙汰します、』最初は誰か分からなかったが、声から察するにあの全シ連理事長だと気づくの5秒と掛からなかった。何か問題が起こったのかなと思案している、今度五反田で新しいシニアアンサンブルチームを結成することになった、ついでには港区在住の小澤さんには是非参加して欲しい、就ては2月23日に発起集会を大崎駅近くのレストランで行うから参加して欲しいという事であった。発起会でお約束したのは、取り敢えず楽団が軌道に乗るまでお手伝いさせて頂きます、その後の事はその時点で考えさせて頂きますという事であった。

帰宅途中脳裏に浮かんだのは、二つ返事で引き受けてしまったものの募るは不安ばかりで何から手始めたら良いか迷う始末。何を用意したら良いか思案するが思い浮かぶのは「ポリス」ばかりであった。取り敢えず、全シ連の宮崎さんに用意して頂いた新聞の折り込み広告五千枚の配布を試みるが、反応は期待値を満たすまでは至らなかった。そんな中、最後に放った『定年時代』の広告が予想外の反響を生み出した。発足日当日、入会及び見学希望者、問い合わせ等で会場は蜂の巣をつついたような有様。発起会から短い期間で発足に漕ぎ着けたのは岡村理事長及び滝野川SEからヘルプに来て頂いた佐藤・中島・黒須さんの3人、中でもリーダー格の佐藤恭子さんには多大なるご尽力頂き感謝しても仕切れません。いずれにしても、当楽団は団員27名と全シ連顧問の五十嵐先生を指揮・指導者にお招きし大海原に向けて船出しました。時には大嵐にも遭遇するかもしれませんが、音楽を愛する人たちと共に音楽に、楽しく、和やかにをモットーに音楽活動を行きたいと思っております。

(五反田SE代表 小澤均)

